

一夕

永井荷風

青空文庫

一 小説家二、三人打寄りて四方山よもやまの話したりし時一人いちにんのいひけるはおよそ芸術を業とするものの中うちにて我国当世の小説家ほど気の毒なるはなし。それもなまじ西洋文学なぞうかがひて新しきを売物にせしものこそ哀れは露のひぬ間まの朝顔、路ばたのむくげ權の花にもまさりたれ。もし画家たりとせんか梅花ばいかを描きて一ひ度名を得んには終生唯梅花をのみ描くも更に飽かるるおそれ虞なし。年老いて筆力つかるれば看るものかへつて俗を脱したりとなし声価いよいよ昂あがるべし。俳優には市川家十八番の如きお株といふものあり。演ずる事たびたびなれば、観客ますます喜びてために新作を顧かえりみるの暇なきに至らしむ。音曲家おんぎよくかについて見るも

また然らずや。聴衆の音曲家に望んで常に聴かんと欲する処は

その人によりて既に幾回となく聴馴れしもの。即すなわ荒木古童あらかきこどうが

『残月ざんげつ』、今井慶松いまいけいしやうが『新曲晒しんきよくさらし』、朝太夫あさたゆうが

『お俊伝兵衛しゆせんべえ』、紫朝しちやうが『鈴ヶ森すずもり』の類たぐいこれなり。神田伯かんだはくざ

山扇さんせんを叩けば聴客『清水しみずの治郎長じろちやう』をやれと叫び、小こさん

高座のぼに上るや『睨み返し』『鍋焼うどん』を願ひますとの声頻しきり

にかかる。小説家の新作を出いだすや批評家なるものあつて何々先

生が新作例によつて例の如しといへば読者忽ちそんなら別に読

むには及ぶまじとて手にせず。画工俳優音曲の諸芸家例によつ

て例の如くなれば益ますますよし。小説家例によつて例の如くなれば文

運ここに尽く。小説家を以て世に立たんことまことに難かたし。

一 詩歌しいか小説は創意を主とし技巧をひん寶とす。技芸は熟鍊を主として創意を寶とす。詩歌小説の作措辞そじ老練に過ぎて創意乏しければけいふ輕浮となる。然れどもいまだ全く排棄すべきに非あらず。演技をなすものみだり紊みだりに創意する處を示さんとしてその手これに伴はざれば全く取るなきにおわ了る。翻訳劇を演おわずる俳優の技芸の如き、あるひはまた公設展覽会の賞しょうはい牌はいを獲えんとする画家の新作の如き即ちこれなり。

一 角力すもうとり取老後を養ふに年寄の株あり。もし四本柱に坐する事を得ばこれ終おわりを全くするもの。一身の幸福これより大なるはなけん。小説家その筆漸く意の如くならずその作また世に迎へられざるを知るや転じて批評の筆を取り他人の作を是非してお茶

を濁す。事は四本柱の監査役と相同じくしてその実は然らず。

一は退しりぞいて權威いよいよ強く一は転じて全くその面めん目を失ふ。

一 われら折々人に問はるる事あり。先生いつまで小説をかくお

つもりなるや。よく根気がつづくものなりよく種がつきぬものなりと。これお世辞なるや冷れい嘲ちようなるや我知らず。およそ小

説と称するものその高尚難解なると通俗平易なるとの別なく共に世態人情の觀察細微を極むるものなからざるべからず。高遠なる理想を主とする著作時として全く架空の事件を綴るものあるが如しといへども、行こう文ぶんの中うち自おのら作者の人間世間うゝあひに対する

觀察の歴然として窺ふべきものあり。されば作者老いて世事に倦うみただ青山白雲を友としたきやうの考かん起がえ来きたれば文才の有無

にかかはらず、小説の述作は自ら絶ゆべし。小説の生命は俗なる所にあり。人間に接する処にあり。世事に興味を有する所にあり。西洋の文学小説に重を置けども東洋においては然らざる所以けだし尋るに難からず。

一 柳亭種彦『田舎源氏』の稿を起せしは文政の末なり。

然ればその齡既に五十に達せり。為永春水が『梅曆』

を作りし時の齡を考ふるにまた相似たり。彼ら江戸の戯作者いくつになつても色つぼい事にかけては引けを取らず。浮世絵師について見るに歌麿『吉原青楼年中行事』二巻の板下絵を描きしは五十前後即ち晩年の折なり。我今彼らの芸術を品評せず唯その意気を嘉しその労を思ひその勇に感ず。

一 今の小説家筆持つ事をば勞作なりと称す。推敲すいこうは苦心なり

もと固もとより樂事らくじにあらず然れども苦悶くもんの中うち自らみづかまた言外ごんがいの慰樂ゐんらくの伴とももなきもなききた

來るものなきにあらず。文事を以てあたかも蟻あたまの物を運ぶ

が如ごとき勞働らうどうなりとなす所以ゆえんわれらの到底解する能あたはざる所なり。

工こう匠じやうの家を建つるは勞働らうどうなり。然りといへども鑿の鉋みんなを手に

するもの欣きん然ぜんとしてその業わざを樂しみ時に覺えず清きよ一元もとでも口

ずさむほどなればその術じゆつ必ず拙つたならず。昔日せきじつの普請ふしんと今日の

受負うけおい工事こうじとを比較ひかくせば思半おもはんに過るものあらん。

一 黄梅こうばいの時節ときせふ漸く過ぐ、正ただに曝書ばくしよすべし。偶たま趙甌ちやうおう北ほくの

詩集ししふを繙ひもとくに左ひだりの如ごとき絶句ぜつこあるを見たり。

売文

〔文ふみを売うる〕

売文錢稍入慳囊

〔文ふみを売うりて錢ぜい稍ささか慳けん囊のうに入り

欲破休糧秘密方

糧かてを休たちし秘密ひみつの方ほうを破やぶらんと欲ほつす

楊子江中水雖淺

楊よう子す江こう中ちゆうの水みづ淺あさしと雖いえども

※他一勺亦何妨

他それを一いっし勺やく※むくに亦また何なんぞ妨さまたげん

編詩

〔詩しを編あむ〕

旧稿叢殘手自編

〔旧きゆう稿こうの叢そう殘ざんを手て自ずら編あみ

千金敝帚護持堅

千せん金きんの敝へい帚そうを護ご持じすること堅かたし

可憐売到街頭去

可あわれ憐べ売うに街がい頭とうに到いたり去ゆくも

尽日無人出一錢

尽ひね日もす人ひとの一いっ錢せんを出いすもの無なし

市川松 菟君この頃

市いち川かわ松しょう菟えん君この頃頃『本ほん草そう図ず譜ふ』『草くさ木もく育いく種しゆ』『絵え本ほん野の』

『山草』等に載する所の我邦在来の花卉を集めて庭に栽ゆ。君

語つて曰く古めかしき草花そうかは植木屋にたのみても中なかには間々ままその名をさへ忘れられしものなぞありて可笑おかしと。さもあるべし。
 向島むこうじまの百花園ひやつかえんなぞにても我国従来あきぐさの秋草あきぐさばかりにては客足つかぬと見えて近頃さかんは盛さかんに西洋の草花を植うえまじ雑まじへたり。日本しの草花は温室咲の西洋草花に比すれば、その色淡泊その形瀟し洒しやにて自らまた別種おもむきの趣あり。当世風の厚化粧いれげ入毛沢山のひさしがみ庇ひさしがみ髪かみにダイヤモンドちりばめ女優好みの頬紅さしたるよりも洗あらいがみ髪かみに湯上りの薄化粧うれしく思やからふ輩やからにはダリヤ、ベコニヤなんぞ呼ぶものよりも雪の下蛍草などのささやかなる花こそ夏には殊更好ましけれ。

一 つらつら四季を通じてわが国そうもく草木の花を見るに、西洋種せいようだね

の花に引比ひきくらぶれば、ここに自おのから特殊の色調あるを知る。牡丹たんしやくやく芍薬やくの花極めて鮮妍せんけんなれどもその趣決おもむきしてダリヤと同じからず、石榴花ざくろ凌霄花ろうぜんかつき宛なら猛火の炎々たるが如しといへどもそれは決して赤インキの如きにはあらず。牡丹たんの紅くれないは加賀友禅ぜんの古色を思はしめ、石榴花の赤きは高僧のまとへる緋ひの衣の色に似たり。日本の花はいかほど色濃く鮮なるも何となく古めきていひがたき渋味あり。庭後庵ていごあん主人好んで小鳥を飼ふ。かつて語りけるは小鳥もいろいろ集めて見る時は日本在来のもは羽毛うもの色皆渋しと。まことや鶯うわ、繡眼めじろ、鶉ひわ、菑雀あおしの羽の緑なる、鳩る、竹林鳥りの紫なる皆何物にも譬へがたなき色なり。今や世を挙げて西洋模倣の粗悪なる毒々しき色彩衣服に書籍に家

屋に器具にいたるところ到 処 人の目を脅すにつけて、わずか僅兩三年前までは
 さほどにも思はざりける風土固有の温和なる色調、漸くそのな
 つかしさを増し行かんとす。氣早きばやの人素みだりにわれらを以て好古癖
 に捉はるるものとなす莫なれ。われら真まに良きものなれば何ぞ時
 の今古きんこと国の東西を云々うんぬんするの暇いとまあらんや。西班牙スペインに固有の
 橙紅とうこう色しよくあり。仏蘭西フランスに固有の銀鼠ぎんねずみ色いろあり。伊太利亞イタリアに
 固有の紅色あり。これ旅行者の一度ひとたびその国土に入るや天然てんねん
 と芸術との別なく漫然として然も明瞭に認むる所なり。一国の
 風土は天然と人為とを包ほうこう合ごうして必ずここに固有の色を作らし
 む。われらは我邦わがほうど土本来の面目の何たるかを知りこれを失は
 ざらん事を慮おもんばかるに過ぎず。おのれの面目を知るはこれ即ち進

んで他の面目の何たるかを窺ふの道たればなり。

大正五丙辰仲夏稿

青空文庫情報

底本：「荷風随筆集（下）」岩波文庫、岩波書店

1986（昭和61）年11月17日第1刷発行

2007（平成19）年7月13日第23刷発行

底本の親本：「荷風随筆 一〜五」岩波書店

1981（昭和56）年11月〜1982（昭和57）年3月

※「漢詩文の訓読は蜂屋邦夫氏を煩わした。」旨の記載が、底本の編集付記にあります。

※ルビは新仮名とする底本の扱いにそって、ルビの拗音、促音は小書きしました。

入力：門田裕志

校正：阿部哲也

2010年3月8日作成

2010年11月1日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.waazora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

一夕
永井荷風

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>